

園児力込め脱穀 もみすりも体験

2こども園

福井市の社中央第一こども園(湧4丁目)と社中央第二こども園(運動公園1丁目)の年長児43人が12日、第一こども園で稲の脱穀ともみすり体験をし、大切に育てた米を味わった。

両園は食育の一環で稲作体験に取り組んでおり、同市種池町の田んぼで春に田植え、夏に稲刈りとはさぎけを行った。

この日は、まず刈った稲

から千歯を使って脱穀。農家から「強く引っ張って」とアドバイスをもらいながら稲穂を力強く引っ張った。割り箸に挟んでもみを取り除く方法も実践した。その後、すり鉢と野球ボールを使ってもみ殻を取り除き、優しく息を吹きかけ殻

を吹き飛ばした。最後に事前に精米した米で作った塩おにぎりを試食。園児らは笑顔で頬張っていた。

第一こども園の澤崎稟鈴ちゃん(5)は「(千歯)きりが最初は難しかったけど、2回目はきれいにとれた」と話した。(横畑俊介)



千歯を使って脱穀する社中央第一こども園の園児
=12日、福井市湧4丁目の同園